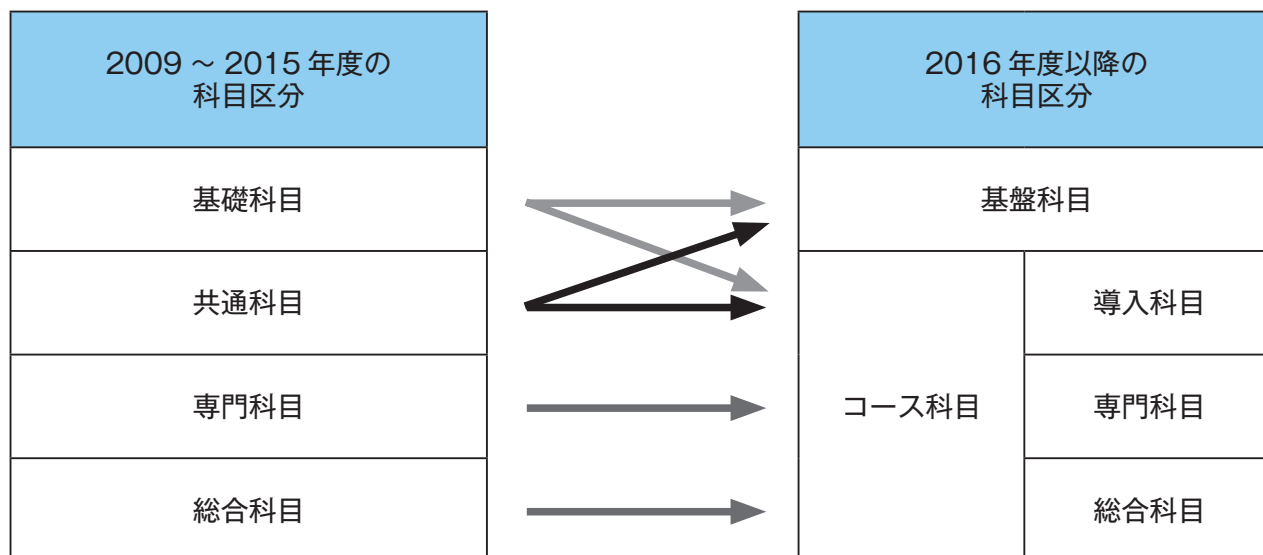


カリキュラム改正について

放送大学は、2016年度から教養学部のカリキュラム全体を見直し、本学の多様な学生ニーズに対応した新カリキュラムによる教育を開始します。

1、現行カリキュラムの科目区分と新カリキュラムの科目区分の関係

卒業要件に関わる科目区分を現在の「基礎科目、共通科目、専門科目、総合科目」の4つから「基盤科目とコース科目（導入科目・専門科目・総合科目）」の2区分とします。



新カリキュラムのそれぞれの科目区分の名称と到達目標（定義）は以下のとおりです。

区 分	目 標	
基 盤 科 目	放送大学のすべてのコースにおける学習をするために必要となる基礎的な能力あるいはリテラシーを身に付けること。 あわせて放送大学で学習することの魅力を知り、学習への意欲を一層強めるために、今日の社会における教養の意義、放送大学における教育の体系、生涯学習等についての理解を深めること。	
コ ー ス 科 目	導 入 科 目	各コースで開設される科目を効率的に学習するために、コースを構成する各学問領域の導入的知識及びそこで求められる基礎的な能力を身に付けること。
	専 門 科 目	導入における各学問領域の基礎的な知識、能力の修得を前提にして、それをさらに深め、各コースの学問分野についての、専門的な知識、分析手法、思考方法を身に付けること。
	総 合 科 目	学際的な知識、分析手法を身に付け、複数の学問領域から異なる視点に立つ分析を通じて、単一の学問領域内での学習を超えた、教養学部ならではの複眼的な視点を養うこと。

2、ナンバリング制の導入

学生が授業内容やレベルを勘案して授業科目を履修できるように、授業科目に番号を付し、分類するナンバリング制を導入し、履修の順序、学問体系のつながりを示すことで教育体系の「見える化」を実現しました。

ナンバリングレベル表示	初級 (10)	中級 (20)	上級 (30)
総合科目 (400)	410	420	430
専門科目 (300)	310	320	330
導入科目 (200)	210	220	230
基盤科目 (100)	110	120	130

<参考>シラバスの見方について

科目コード		授業概要 新カリキュラムの科目区分を表示しています。 基本的なパソコン操作を初歩から学びます。学んだことは、放送大学の授業にも役立ちます。分からないことがあれば随時サポートを得られるので、初めてパソコンに触る方に積極的に参加していただきたいと思ひます。 【授業テーマ】 第1回 パソコンの基本操作 (キーボード入力・マウス操作など) 第2回 ワードによる文書作成 (1) 第3回 Webとメールの活用 第4回 セキュリティとマナー 第5回 放送大学におけるICT活用 第6回 ワードによる文書作成 (2) 第7回 プレゼンテーション 第8回 更なる学習のために 【学生へのメッセージ】 基本的なパソコン操作を初歩から学びます。学んだことは、放送大学の授業にも役立ちます。分からないことがあれば随時サポートを得られるので、初めてパソコンに触る方に積極的に参加していただきたいと思ひます。 【成績評価の方法】 成績評価は出席状況及び学習状況等を総合的に判断して行ひます。 【受講者が当日用意するもの】 USBメモリ※市販されている一番安価な物で結構です。 【教科書】 授業当日に補助教材を配付します。 【その他 (特記事項)】 この科目は2009~2015年度「基礎科目」、2008年度以前「共通科目」に該当します。
学習センター (コード)	(13B)	
クラスコード	K	
ナンバリング	110 (基盤科目:初級)	
科目名	初歩からのパソコン	
科目区分	基盤科目	
定員	20名	
担当講師	△△ △△ 放送大学教授	
日程 実施時間	○月○日(日) 第1時限 10:00~11:25 第2時限 11:40~13:05 第3時限 14:10~15:35 第4時限 15:50~17:15 ○月○日(日) 第1時限 10:00~11:25 第2時限 11:40~13:05 第3時限 14:10~15:35 第4時限 15:50~17:15	
実施会場	東京文京学習センター	

ナンバリングレベルを表示しています。

新カリキュラムの科目区分を表示しています。

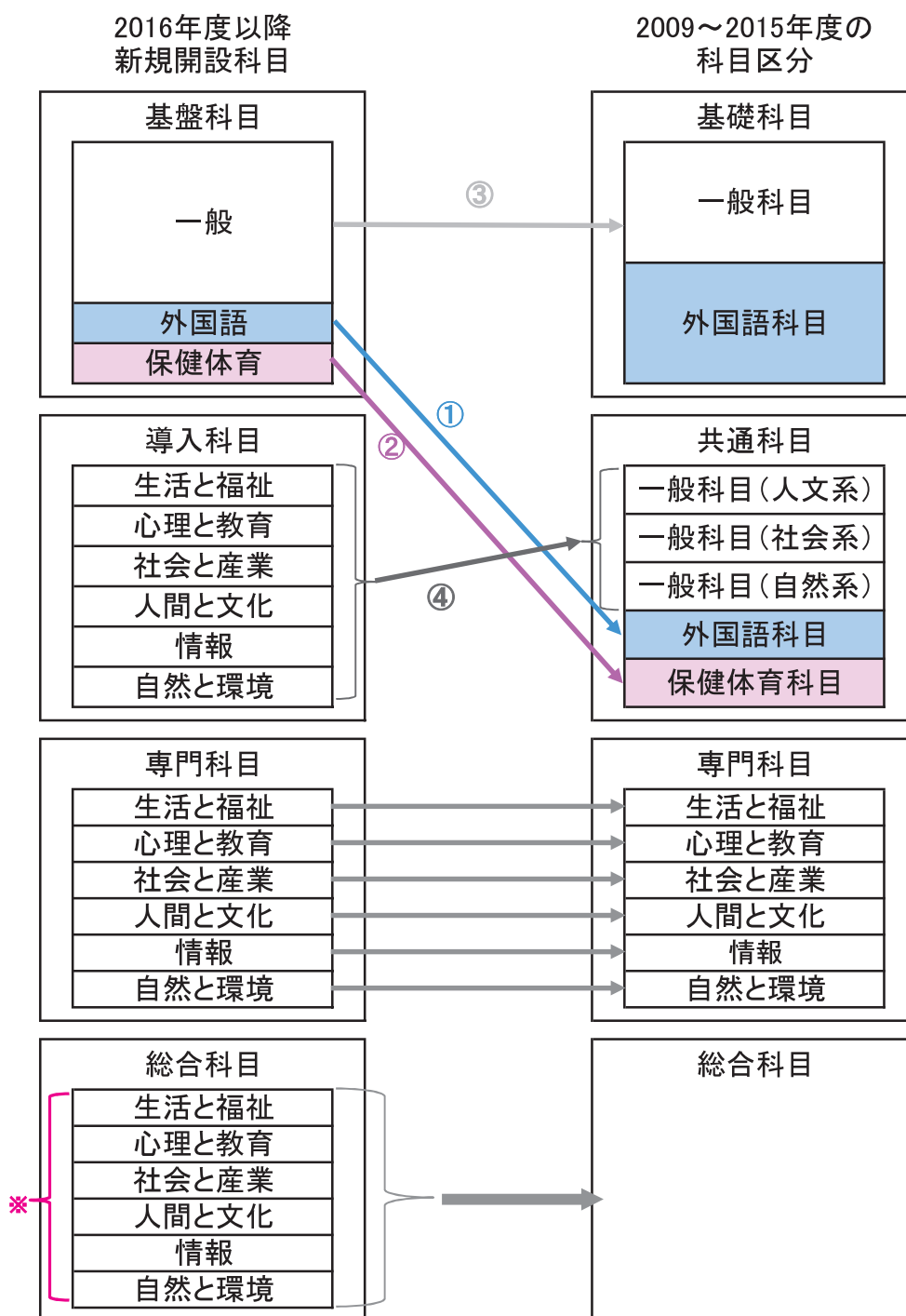
旧カリキュラムで該当する科目区分を表示しています。

科目区分の変更に伴う単位の取り扱いについて

2016年度のカリキュラム改正により科目区分が変わります。この変更に伴う修得単位の取り扱い(以下「読み替え」という)は、入学年度(所属カリキュラム)により以下のとおりとなります。

i) 2009～2015年度入学者が2016年度以降の新規開設科目の単位を修得した場合

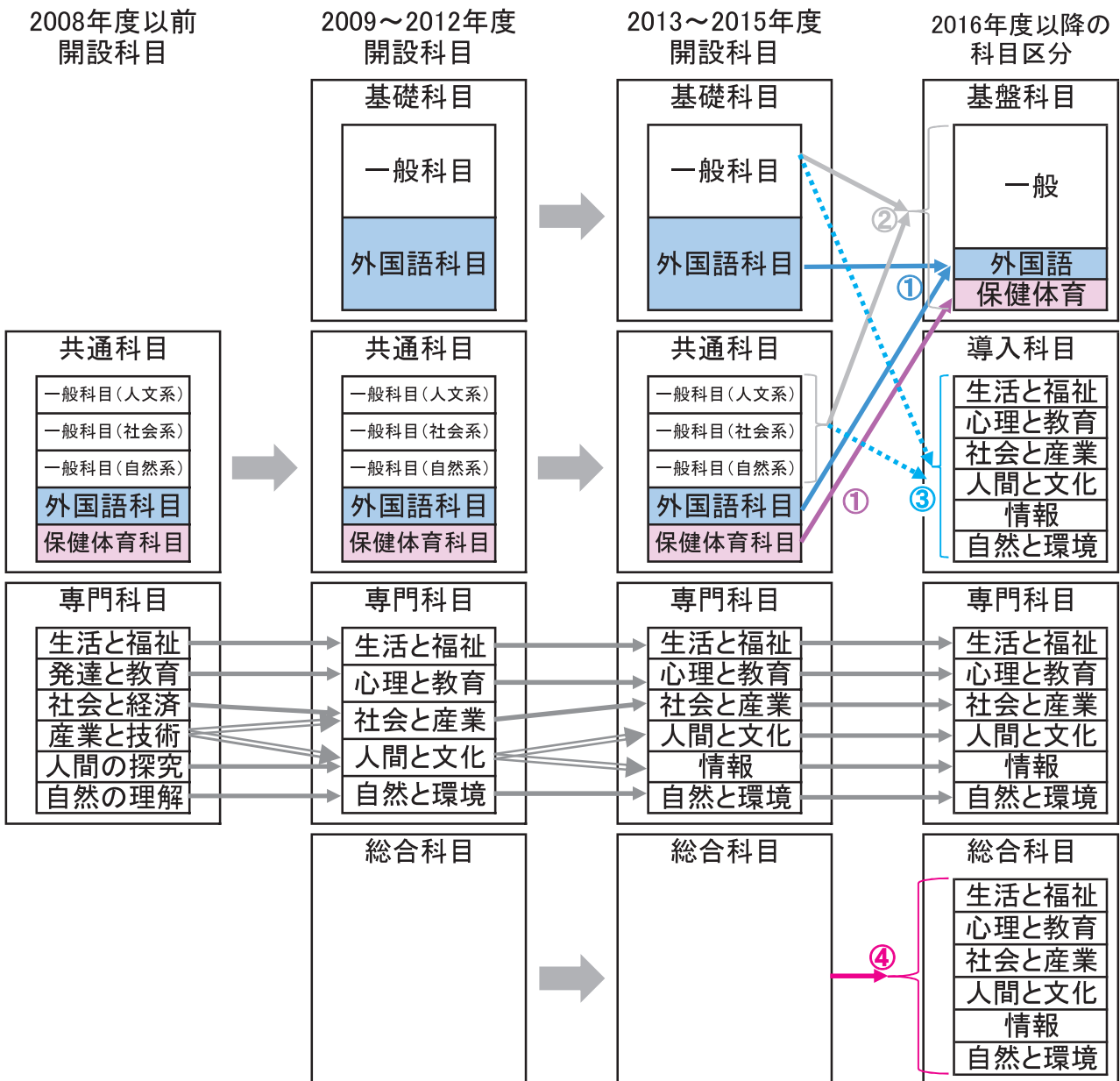
- ①外国語は、共通科目(外国語科目)に読み替える。
- ②保健体育は、共通科目(保健体育科目)に読み替える。
- ③外国語と保健体育以外の基盤科目は、基礎科目(一般科目)に読み替える。
- ④導入科目は、共通科目(一般科目(人文系)、一般科目(社会系)、一般科目(自然系))に読み替える。



※ 面接授業では、コースを区別せず所属のコース科目として扱います。

ii) 2016年度以降の入学者が2015年度以前の開設科目の単位を修得している場合
(2015年度以前の入学者が2016年度の新カリキュラムへ移行する場合も同様)

- <基盤科目への読み替え>
- ①まず、外国語科目と保健体育科目はすべて基盤科目に読み替える。
 - ②この読み替えにおいて14単位を超えなければ、次に、その他の基礎科目と共通科目について単位修得の古い順から基盤科目に読み替える。(外国語・保健体育と合わせて14単位を満たすまで)
- <導入科目への読み替え>
- ③上記①、②で基盤科目として読みかえられなかった基礎科目と共通科目は、すべて導入科目(自コース開設扱い)に読み替える。
- <総合科目への読み替え>
- ④総合科目は総合科目(自コース開設扱い)に読み替える。
- ※産業と技術専攻の情報系の専門科目は、人間と文化コースの専門科目に読み替える。ただし、2008年度以前の面接授業については、社会と産業コースの専門科目に読み替える。
人間と文化コース(旧産業と技術)の情報系の専門科目を2012年度までに修得した場合は、所属コースにより人間と文化コース又は情報コースの専門科目に読み替える。



* ただし、2016年度以降の新規開設科目は、この取り扱いに該当しない。